

NPO 京都コミュニティ放送  
第 141 回 番組審議会 議事録

開催日時：2020 年 10 月 20 日（火） 9：30～10：30

会場：ラジオカフェ事務所

出席委員：中村正 福井秀彦 隅井美沙子 ジェフ・バーグランド、岡本卓也

欠席委員：岡田芳宏

局側委員：松岡千鶴 藤本香（順不同敬称略）

ゲスト：「ひさか まゆの ひま・らく・じかん」番組オーナー ひさかまゆさん

■審議番組： 「ひさか まゆの ひま・らく・じかん」（  
毎月第 1 木曜日 10 時から放送の 3 分番組）

冒頭 番組オーナー ひさか まゆさんから番組の説明があった。

昨年 4 月から番組をスタート。生活の中で気付いたこと、楽しかったことを題材にしている。

最新の 10 月の放送を聞いて審議に入った。

- ・番組のコンセプトは何か？
- ・自由にやっている。FM 草津のパーソナリティ養成講座に参加していた。（ひさか）
- ・その人の人生の背景が見える。目的が明確でない方が聴いていて楽な気がする。
- ・審議会での受け答えと、番組でのトークが同じ話振り。これが聴き易さに繋がっている。小さな情報だけど聴き易かった。台本を読んでいるのか、ことばに詰まった個所があったが自然な感じを出すためには、そのようなこともある方が良い。
- ・原稿を書いて読むと聴いていてしんどい。ポイントだけ書くようにしたらどうか。
- ・自分の言葉で語ることが大切。
- ・アナウンススクールで勉強しているので聴き易い。番組の目的は特になくて良いのではないか。テーマ設定はするのか？
- ・1 ヶ月の間に起こったことや時勢の話題について話している。（ひさか）
- ・しゃべり方も良くて聴き易い。ただ何について話しているのか、何を言いたいのか分からない。だから友達に、番組を聞くよう薦められない。
- ・音質が良いので聴き易い。既存の放送は目的が必要だが、風景が見えるようなお話ならば、それで良い。自分の話と原稿と緩急つけてはどうか。
- ・大学院生が声の研究をしている。演技しようとする声は目的を失う。自分の声が分からなくなる。つまり演じれば演じるほど自分を見失う。「ひまらくじかん」で良いのではないか。
- ・自由にその時その時思う事を話している（ひさか）
- ・それで良いのではないか。

以上で審議を終了した。

この審議会の議事録は 2020 年 11 月 1 日から事務所で閲覧できるようにした。

この審議会の議事録は 2020 年 11 月 1 日からホームページで公開した。